

「航空機における複合材料技術の最新動向と評価方法」 講演会 開催報告

(公財)ふくい産業支援センターでは、繊維や眼鏡の加工技術などの福井県の強みを活かし、航空宇宙などの成長分野へ企業が進出する取り組みを支援しています。この度、ふくいCFRP研究開発・技術経営センター（FCC；事務局 福井県工業技術センター）との共催で、「航空機における複合材料技術の最新動向と評価方法」講演会を開催いたしました。今回の講演会では、航空機向け材料の最新技術を紹介するとともに評価や検査方法についても実例を示して紹介いたしました。

日 時：令和元年10月30日 13:10～16:50
場 所：福井県工業技術センター 講堂
参加者数：74名
主 催：(公財)ふくい産業支援センター
ふくいCFRP研究開発・技術経営センター(FCC)



内 容

○開会あいさつ ふくいオープンイノベーション推進機構 ディレクター 山本 雅己

○「複合材機体開発の話 ～研究・開発・認証それぞれの視点～」
国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 航空技術部門
構造・複合材技術研究ユニット 主任研究開発員 青木 雄一郎 氏

欧州機体メーカーでの複合材機体開発業務と国交省航空局での型式証明審査業務を経験した JAXA の研究者が、研究・開発・認証それぞれの視点で考えた技術課題や今後の展開について説明されました。

○「航空機用複合材料開発と将来展望」
東レ(株) ACM技術部 部長（兼航空宇宙技術室長） 大鼓 寛 氏

近年の新型民間航空機は炭素繊維複合材料の大幅適用が主流となる一方で、将来の小型機に向っては金属材料との競争の激化が予想されていることなど、材料開発の視点から航空機用複合材料の技術変遷と将来展望について解説されました。

○「CFRPの破壊観察と物性評価例の紹介」
(株)島津製作所 分析計測事業部
グローバルアプリケーション開発センター マネージャー 西村 司 氏

CFRPの各種試験（引張・圧縮・曲げ）について、各種試験装置や観察装置を使用した測定・観察事例について紹介されました。

○「航空機器用部品などの検査に用いる非破壊検査技術の紹介」
(株)島津製作所 航空機器事業部 技術部 グループ長 堀川 浩司 氏

開発中の、超音波と光を利用して検査対象物の表面付近の欠陥（亀裂や剥離）などを可視化する非破壊検査装置と、従来の測定方法では煩雑又は困難であった表面下の検査を容易にする検査事例を紹介されました。



青木 雄一郎 氏



大鼓 寛 氏



西村 司 氏



堀川 浩司 氏

お問い合わせ先：(公財)ふくい産業支援センター オープンイノベーション推進部
プロジェクト推進室 近藤、田中